

2021 年度大学院入試（2021 年 2 月）のオンラインでの実施について

新型コロナウイルス感染症の流行に対応し、北海道大学大学院文学院修士課程および博士後期課程の入試（後期試験）は、対面方式ではなくオンライン方式（自宅などでの受験）で実施することになりました。

これに伴い、文学院スラブ・ユーラシア学研究室の入試については、以下の変更があります。

修士課程入試（2月6日）：

- ① 専門試験は実施しない。一般入試では、文学院全体の共通外国語試験も実施しない。
- ② オンラインで、面接試験と、「口述試験その他」の枠で通常行っているものと同様の外国語筆記試験を実施する。外国語筆記試験では、通常通り辞書持ち込み可である。
- ③ 出願書類として卒業論文を提出しない者は、自分の研究テーマに関する論文（注と参考文献を付け、計 10,000 字程度、または英語ないしロシア語で 4,000 語程度）を、出願書類と一緒に提出すること。
- ④ 出願者多数の場合は、出願書類（卒業論文を提出しない者は③の論文を含む）の審査による第 1 次選考で、オンライン試験を受験できる者を絞り込むことがあり得る。
- ⑤ オンライン試験を受験する際は、パソコン（外国語筆記試験と口述試験に使うため）およびスマートフォン（外国語筆記試験の試験監督用に手元を写し出すため、また緊急連絡のため）を用意すること。機器やオンライン接続の確認などのため、試験の 1 週間前までにこちらから連絡する。

博士後期課程入試（2月12日）：

- ① 外国語文献読解の試験は行わず、出願書類の審査と、オンラインでの面接試験のみを実施する。なお、出願者多数の場合でも受験者の絞り込みは行わない。
- ② 検定試験などによる外国語（志願者の母語でない言語）の能力を証明するもの（成績証明書など）があれば、出願書類と一緒に提出すること。

そのほか文学院全体での入試実施要領について、下記リンク先を参照し、概要説明動画も必ず視聴してください。出願書類と一緒に確認書を提出し、またインターネットで申し込みフォームに記入して送信する必要があります。

<https://www.let.hokudai.ac.jp/news/16115>

スラブ・ユーラシア学研究室の入試について不明の点があれば、研究室主任（宇山智彦教授）までお問い合わせください。

uyama[at]slav.hokudai.ac.jp（[at]は@に変換して送信）